

# JST 理事長 記者説明会

令和3年 3月 24日



科学技術振興機構

**【予告】**  
**第3回輝く女性研究者賞**  
**（ジュン アシダ賞）募集**



**科学技術振興機構**

# 【予告】第3回輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞) 募集

## 趣旨

女性研究者の活躍を推進する取り組みの一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者及びその活躍を推進している機関を表彰。なお、芦田基金(※)より、副賞100万円提供のご協力をいただきます。

※ 1994年に、デザイナーの故 芦田 淳 氏が、青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター(JISTEC)に寄附し設立された基金

## 対象者(自薦/他薦ともに可)

- 【輝く女性研究者賞】  
:女性研究者 1名 原則40歳未満  
(ただしライフイベントによる研究活動休止期間を勘案)
- 【輝く女性研究者活躍推進賞】  
:機関 1機関  
女性研究者の活躍推進に貢献する、他機関のモデルとなるような取り組みを行っている機関

## スケジュール(2021年)

募集期間 4月1日~6月30日日本時間正午  
選考 7月上旬~8月下旬  
受賞者発表・表彰式 11月3日(水・祝)(予定)

## 選考委員(敬称略、委員長を除き五十音順)



鳥居 啓子(委員長)



浅川 智恵子



阿部 玲子



大草 芳江



北川 宏



所 千晴



村山 斉



柳沢 正史

➤ 募集HP(4月1日以降に詳細を掲載)

<https://www.jst.go.jp/diversity/about/award/index.html>

➤ お問い合わせ先

JSTダイバーシティ推進室

電話:03-5214-8443 メール:[diversity@jst.go.jp](mailto:diversity@jst.go.jp)

# 本日の登壇者



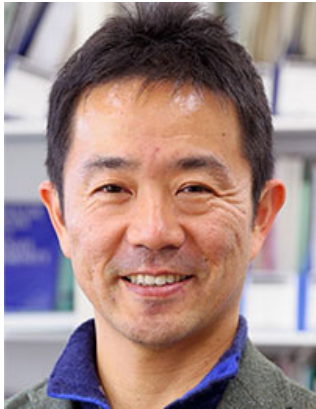
島津 博基

## ● 島津 博基

科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）フェロー/  
ユニットリーダー（ライフサイエンス・臨床医学ユニット）

大阪大学大学院理学研究科修了。JSTでは産学連携事業担当を経て、情報、ナノテク・材料分野などで分野の俯瞰や研究戦略立案を担当。マテリアルズ・インフォマティクスの提言などを執筆。弁理士試験合格。

# 本日の登壇者



石井 健

## ●石井 健(東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門ワクチン科学分野 教授)

1996年から7年間米国保健省食品薬品局(FDA)の生物製剤ワクチン部門にて、CpGアジュバントを含む核酸免疫療法の研究及び開発、また米国における新規のワクチンの臨床試験等に審査官として、審査行政にかかわった。

2003年より2008年に至るまでJST、ERATOの審良自然免疫プロジェクトのグループリーダーとして、本課題に関係するCpGを含む核酸の自然免疫認識機構に関する基礎研究を行った。

2010年4月より(独)医薬基盤研究所のアジュバント開発プロジェクトリーダーとしてCpGアジュバントなどを中心としたワクチンアジュバント開発研究を開始。  
BGCpGに関しては2004年より北九州市立大学の櫻井教授らと共同研究を行っている。



櫻井 和朗

## ●櫻井和朗(北九州市立大学 環境技術研究所環境生命工学科 教授)

1999年に鐘紡(現クラシエ)からJST 新海プロジェクト(ICORP)に出向多糖核酸複合体を発見。この研究でJSTのさががけに採択され、鐘紡を退社、研究に専念する。

九州大学の新海教授とJSTのSORST(1次元分子認識システムを応用した多糖系遺伝子マニピュレーターの創製)において、多糖核酸複合体のDDSへの応用を模索する。

JSTの異分野交流会で石井教授(当時はERATO 審良自然免疫プロジェクトのグループ長)と出会い、CpGDNAのDDSの共同研究を始める。

石井教授と共同でCREST(DDS粒子のナノ界面と鳥インフルエンザワクチン等への応用)を開始、CpGDNAを多糖SPGを用いたDDSで飛躍的に免疫賦活が増強されることを発見